

# 骨髓バンク 2001年12月 会報16号

日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数:146,019人(県内2,174人)  
 骨髓移植希望者(患者数):1,637人(県内42人)  
 バンクを通じての移植例数:3,778例(県内移植数57例、県内採取数55例)  
 (2001年11月末現在)

## 2001年10 - 12月 茨城県内イベント等での登録会実績

皆様ご協力ありがとうございました。

開催日	ドナー登録会		イベント名、場所	ドナー登録者数(名)	受付・問診・採血
	献血並行	単独			
10/28(日)			水戸・常磐大学	5	水戸保健所・血液センター
11/23(金)			水戸・茨城大学	15	水戸保健所・血液センター
12/7(金)			阿見・自衛隊武器学校	5	土浦保健所・血液センター
12/9(日)			水戸・全国一斉登録会	3	大宮保健所・血液センター
12/9(日)			つくば・全国一斉登録会	32	つくば保健所・血液センター

## 2002年1-2月 茨城県内イベント参加へのお願い

来年も多くの登録会等が予定されており、一人でも多くの方のご協力が必要となります。初めての方も大歓迎！半日でも結構ですのでご参加お願いします。

\*注意：下記予定は変更になることもございますので、事前に事務局までお問い合わせ下さい(事務局連絡先はPage 5をご覧ください)

開催日	ドナー登録会		イベント名、場所	受付・問診・採血
	献血並行	単独		
1/31(木)			旭・旭村役場献血会場	鉾田保健所・血液センター
2/4(月)			古河・古河市役所献血会場	古河保健所・血液センター
2/7(木)			東海・東海村役場献血会場	ひたちなか保健所・血液センター
2/8(金)			関城・NEC工場献血会場	下館保健所・血液センター
2/21(木)			麻生・麻生町保健センター献血会場	潮来保健所・血液センター

## NEWS 2002年版ハローキティ・シールカレンダーができました

1枚100円(税・送料別)10枚からご注文を承ります

皆様お待たせしました。「2002年版ハローキティ・シールカレンダー」ができました。ハローキティのシールカレンダーは1ヶ月毎に携帯電話やパソコンに貼って使えてとっても便利。またこのシールカレンダーは、何度でもきれいに貼って剥がせる優れ物です。裏面にキティちゃんが骨髓バンクのPRをしています。皆でお友だちに紹介して骨髓バンクの応援をしてね！

【ご注文は】地元の骨髓バンク支援団体へまたは「特定非営利活動法人全国骨髓バンク推進連絡協議会」  
 e-mail:office@marrow.or.jp まで、送り先とお名前、数量を明記の上メールでご注文下さい。

カレンダーと一緒に振込用紙を送ります。(料金後払い)在庫無くなり次第終了。ご注文はお早めに！

## ドナー登録者30万人をめざして！

## 10 - 12月 茨城県内イベント参加および登録会報告

### 10/28(日) 常磐大学登録会

水戸市の常磐大学での学園祭において骨髄バンクドナー登録会が開催されました。あいにく冷たい雨での登録会になってしまい、予想よりも登録数は伸びませんでした。受付数6名で登録数5名。1名寒さのため高血圧で登録不可。大学と短大が隣接していて10代の若者が10名近く登録申込に来られましたがチャンスを渡して是非20歳になったらお願いしますと丁寧にお断りしました。(山崎)

水戸保健所の方が説明員を行いました。



### 11/23(金) 茨城大学学園祭におけるドナー登録会

水戸市の茨城大学学園祭において単独型のドナー登録会、マモのメッセージ展ならびにペンシルバルーン募金とピラ配りによるPRが実施されました。当会取手支部長で「りおちゃんを救う会」代表の貫井さんが、りおちゃんのおばあさんと伯父さんのお二人と共に午前中のチラシ配布に参加して下さいました。マモのメッセージ展は、足を運んで下さった皆さんの心に大きなものを残していたようです。PRに関してはいろいろな制約もあり、午前中は伸び悩みましたが、15名の方にドナー登録して頂く事が出来ました。ペンシルバルーン募金は、商売仇さんが斜め向かいにあったこともあり、6,906円でしたが、小学生くらいの男の子達がりおちゃんの写真を見て「バルーンはいいので募金だけさせてください」と言って募金してくれたのには感動しました。いつものピラ配りでは大学生くらいの世代にはなんとなく渡しづらくて、避けていた所が正直ありましたが、若い世代の心に訴えて、そしてそれに答えてくれる人達がいる事を実感し、これからはこの世代にも積極的にPRしていこうと強く思いました。

参加者は、薬務課の床宿さん、水戸保健所の所長、課長、長洲さん、佐原さん、いばらきの会から牛島さん、瀧さん、鈴木さん、初参加の岩瀬さん、稲川でした。前日までの準備では、山崎さん、中津川さんが縁の下の力持ちになって下さっていた事を始め、つたない段取りをフォローして参加して下さった皆さんに感謝いたします。

(稲川)

### 11/25(日) 骨髄移植推進財団10周年記念式典

東京大学校内にある安田講堂にて「骨髄移植推進財団10周年記念式典」が執り行なわれました。小春日和の一日、イチョウ並木は黄金色に輝き、木漏れ日の中散歩を楽しむ家族連れの姿も見られ、都会のここだけは時間がゆっくりと流れているようでした。そんな情景の中に古く重々しく人間の歴史を刻み込まれた安田講堂は静かに建っていました。約500名の参加により、午後の1時から開催された式典は3部構成され、第一部は各界代表の挨拶から始まり壇上と会場の患者70名・ドナー150名に「&x」のカードを持ってもらい質問形式で全員参加のイベントでした。

2部ではボランティアのマドンナである大谷貴子さんのキレの良い司会で始まり「あいかちゃんの登録会」でおなじみのあいかちゃんご家族や埼玉在住の患者さん親子が登場、内なる思いをお話され3部ではプロゴルファーの患者さんやマラソンランナーのドナーさん達が一緒に登壇しそれぞれの思いを交換しあいました。この日、30万人登録を目指し財団・患者・ドナー・ボランティアのみんなが一丸となって開催した式典は、全国から参加された人々の心に熱い思いを抱かせ、一度きりのイベントで終わらせないで新たな一歩を踏み出そうと言う気配を感じました。

そしていばらきの会にも井伊さん・萩原さんとの素敵な出会いがありました。「式典」と言うお堅い言葉の裏には、人々の暖かな心のふれあいが沢山沢山隠されていました。(瀧)



応援しよう! 骨髄ドナー登録キャンペーン



(財)骨髄移植推進財団

## 12/9(日)JR水戸駅北口全国一斉ドナ-登録会報告

骨髓バンク10周年を記念して、全国一斉登録会が12月8日、9日に開催され、県内では9日に水戸とつくばの2ヶ所で実施しました。水戸では黄門像前広場でチラシ配布と呼びかけを行い、登録会場は近くの予備校教室を借りて単独型形式で実施しました。担当保健所は大宮保健所で、当会では説明員として瀧さん、チラシ配布を私が担当しました。薬務課や保健所の方にもチラシ配布を手伝っていただいてチラシ約1300枚とティッシュ1000個を配布し、得意の大声呼びかけを終日行ったのですが、登録者は予想に反してわずか3名に止まり過去の県内ワースト記録を更新することになってしまいました。原因を検討し、対策を十分に練って再度チャレンジしたいと思います。今回のチラシ配布には飛入りで、現役患者の息子さんを持つ常陸太田の萩庭さんにお手伝いいただきました。寒風の中でのご協力に感謝いたします。大宮保健所の青木さん、これに懲りずにまた来年どこかで登録会やりましょうね！今度はベスト記録更新に挑戦しましょう。(牛島)

## 12/9(日)つくば全国一斉ドナ-登録会報告

つくば市の献血ルームにて、「全国一斉ドナ-登録会」が実施されました。今回は、茨城初のルーム型の登録会ということで、期待と不安の入り混じった中での開催でしたが、天気は快晴で、寒さも何とかこれなら我慢できそうな陽気の中、茨城桜ライオンズクラブから5名、薬務課の床宿さん、つくば保健所から3名、いばらきの会から伊井さん、岩瀬さん、稲川さん、鈴木で登録会を実施いたしました。

事前申し込みが、10名程と、とりあえずひと安心していましたが、最初の登録希望者が、9時半前から来てしまい、慌ててはじめることになってしまいました。途中、希望者が多く、説明がたいへんでしたが、午前中登録者20名、午後12名の合計32名でした。午前中、強風のため、テントが飛ぶというハプニングもありましたが、献血ルームはじめ、ライオンズクラブ、つくば保健所の協力のもと無事開催することができました。

今回の登録者の方は、大学生が多く、友達同士で来てくれ、また、夫婦で一緒に登録してくれた方も何組かいました。今回は血液センターとの兼ね合いもあり登録時間が3時30分までになってしまい、記録更新にはなりませんでしたが、初のルーム型としては、予想以上の成果だったと思います。寒空の中、ご協力くださいました方々、ありがとうございました。(鈴木)

## 12/21(金)茨城新聞「歳末愛の募金」いばらきの会が贈呈されました。

茨城新聞社と茨城新聞文化福祉事業団が毎年行っています「歳末愛の募金」で、県福祉部薬務課よりの推薦を受けた当会が配分対象に選ばれ、12月21日茨城県総合福祉会館にて贈呈を受けました。これは偏に薬務課大森課長はじめ床宿さんや寺島さんなどご担当の方々、各保健所の皆さんの深いご理解と大変なご努力の賜物であり、心から感謝いたすとともに厚く御礼申し上げます。

なお贈呈金20万円につきましては会員の皆様とご相談のうえ有効に活用させていただきます。



## 12/23(日)県立こども病院へのクリスマスプレゼント

こども病院イベントに参加された皆さん(瀧、伊井、鈴木、落合、稲川、牛島の6名)、お疲れ様でした。そして伊勢甚さんや病院側との交渉、プレゼント品の手配などご多忙の中、精力的に準備をしていただいた瀧さんのご努力に深く感謝します。結果を一言で総括すると、「やってよかった！」です。子供たちには大好評でした。私たちがバルーン募金などで一般市民の方々からいただいた浄財を社会に還元するという大義名分ながら、闘病生活で辛い毎日を送る小児患者たちに、ささやかなプレゼントを差し上げて、わずかでも楽しい時間



を過ごしてもらおうと企画しました。牛島サンタおじさんと落合サンタおねえさんが赤い衣裳を着て、それ以外の方もサンタ帽を被って病室を訪問し、それぞれにプレゼントを手渡してきました。最初に2A病棟プレイルームで男の子の患者さんにプレゼントを手渡すミニイベントを行いました。その模様はマスコミ3社(茨城、読売、東京)が取材してくれました。(同封記事参考)今回は血液疾患を含む全ての入院患者を対象として全病棟を回りましたが、新生児から高校生まで様々な年齢の子供たちが闘病生活を送る生の医療現場を目の当たりにして、子育てを経験した親としてとても心が痛みました。全ての患者さんが回復して退院できる日が早く訪れるよう祈るばかりです。私たちが子供たちにしてあげることができるものはこの程度しかありませんが、このイベントは今後も毎年続けていきたいと思えます。

伊勢甚日立店さんにはプレゼント品の値引きやラッピングなどでいろいろとご協力いただきました。これも瀧さんが日立社協の活動に日頃尽力していただいたおかげです。伊勢甚さんとは今後も良い関係を続けていきたいものです。

当日のこども病院スタッフ、ドクター、ナースの方々には大変好意的に対応していただき、ほんとに頭が下がりました。日夜献身的に働いている各病棟のナースの皆さんたちにも一緒に喜んでもらえたようで、彼女たちの明るい笑顔が印象的でした。(牛島)



## 結城郵便局にてマモのメッセージ展を行います。

道化師は  
笑いの量の  
十倍の量の  
塩水を排出  
する。  
by まも

会員の佐藤ちい子さんお勤めの結城郵便局(結城駅前)ロビーにてマモのメッセージ展を行います。

開催期間:平成14年1月16日(水)

~1月31日(木)

開催日時:局の窓口営業日及び窓口営業時間

「マモのメッセージ」は平成4年10月4日、急性白血病のため、17歳と40日の生涯を閉じた小野寺守くんの生きたあかし・心からの訴えを筆で表現しました。

心にぐっとこみ上げる何かがあると思います。是非一度ご来場ください。

## 新地区普及広報委員の抱負

**鈴木さん**~このたび、10月5日付で、地区普及広報委員になりました、鈴木秀文です。いばらきの会にボランティアとして参加して数年経ちましたが、改めて、がんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。財団から送られてきた、活動マニュアルを見て、たいへんなことを引き受けてしまったなと思いましたが、今回のつくばの登録会を終えて、少し自信がつかしました。まだまだ、分からないこともあります。いばらきの会のモットー「気負わずあせらず できることから 楽しく」を考えながら、自分でやれることから、無理せずにやって来たいと思います。

**稲川さん**~いばらきの会での活動に参加させてもらうようになって、まだやっと1年が過ぎたばかりの私が委員になっていいのだろうかと審査を通して頂いた今更ながら不安でいっぱいです。私が委員になろうと思ったのは、おいそがしい中で活動されている皆さんの負担が少しでも軽くなればという事と、もっと20代の方、特に学生にもっと骨髄バンクについての理解を深めてもらい、ドナーになってほしい、そのためには、同世代である私が積極的に、今だからこそ開拓できるPRの場を探し、効率的に活動を行いたいと考えたからです。まだまだボランティアとしても、人間としても未熟な私ですが、ボランティアとしての活動、知識を深めるための勉強、ともに努力を重ねていきますので、皆さんご指導よろしくお願いいたします。

## 骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。ご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義:00110-3-127575 加入者名義:骨髄バンクを支援するいばらきの会

NEWS

### 取手支部が取手市より表彰

平成13年10月27日(土)取手市グリーンスポーツセンター第4回取手市健康福祉大会において骨髄バンクを支援するいばらきの会取手支部は積極的なボランティア活動を認められ代表として同支部長(副会長)貫井徹さんが表彰状を受け取りました。なお当日の祭りにおいて骨髄バンクのピラ配りを取手支部14名にて行ない骨髄バンクのPRを行いました。



### 全国イオングループレシート還元企画

#### 骨髄バンクを支援するいばらきの会は日立伊勢甚地下食品売り場ボックスに参加 毎月11日のみ実施

全国イオングループで毎月11日に「全国イオングループレシート還元企画」を実施しています。詳細は下記のとおりです。

毎月11日にイオングループ各店舗で買い物をすると、黄色いレシートがお客様に渡されます。

各店舗に設置されている数団体のボックスからひとつを選び、投票形式でお客様が黄色いレシートをボックスに入れる。

投票されたレシートの1%が各団体に還元される。

皆様、11日に日立伊勢甚でお買い物の際は、当団体のボックスにレシートを入れていただけるよう、お願い申し上げます。

### 事務局より

#### 事務局から御協力をお願い

皆様方のお住まいになっている各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。ご協力お願い致します。

**年度年会費納入のお願い** 皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

#### 会費納入とご寄付をありがとうございました

(2001年10月23日～2001年12月27日現在)(順不同敬称は略させていただきます。)

**寄付:萩原千春(3,000円) 会費:萩原千春**

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

**発行: 骨髄バンクを支援するいばらきの会** <http://www.marrow.or.jp/ibaraki>

発行責任者: 牛島英二 編集: 山崎揚久・落合佐智世

<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内

TEL: 090 - 8306 - 7111/FAX: 0291 - 37 - 1425/E-mail: yamazaki@kurumiya.com

**特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会** <http://www.marrow.or.jp>

〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody 21 9F

TEL: 03 - 3356 - 8217/FAX: 03 - 3356 - 8637/E-mail: office@marrow.or.jp

